



ウ ス バ キ  
ト ソ ノ 号

干潟の生き物観察会

5月15日(日) 9:30~13:00

【活動報告1】

大塚一恵

野島公園内の野島海岸で行われた「干潟の生き物観察会」に参加しました。とても干潟が広くて、正に潮干狩り日和！子どもたちは穴を掘ったり、網ですくったり。カニ、ヤドカリ、エビ、ヒトデ、貝類、色々な生き物を夢中になって探して、捕獲した生き物についてのレクチャーを興味深く聞きました。



ウスバキトンボ (薄羽黄蜻蛉)

学名: *Pantala flavescens*

橙色をした中型のトンボで、初夏から秋にかけて日本各地で見ることができる。成熟したオスは腹部が赤みがかかり、一見すると赤とんぼのようだが、所謂赤とんぼのアカアカネやナツアカネ(アカネの仲間)とは別のグループである。

名前の通り薄く幅の広い羽が特徴で、あまり羽ばたかずに風を捉え、グライダーのように飛び長距離を移動する。アカアカネやシオカラトンボ等と比べると体が柔らかい事も、より飛行しやすく軽量化した為と思われる。

幼虫は寒さに弱く、水温が4℃を下回ると死滅してしまう。毎年日本で発生する個体群は八重山諸島や東南アジア、中国大陸で越冬した幼虫が世代交代を繰り返しながら北上したもの。幼虫は早いものでは産卵から1ヶ月弱で羽化し、より北へと勢力を拡大する。関東ではお盆の頃に見る数が増える事から精霊トンボとも呼ばれる。



深沢大地

その後は、美味しいランチ♪ 潮干狩りと言えばアサリのイメージでしたが、それ以外にもたくさんの美味しい貝が採取できることを知りました。中でもマテ貝と松露のパスタ、絶品でした！磯の香り豊かなアカモクも歯応えがよく、注目の食材である理由を実感しました。



楽しく、美味しく、海を堪能した1日でした。ありがとうございました

### 5月定例クリーンアップ

【活動報告2】

5月22日（日）10:00～11:00 晴れ

飯村優介

実施内容：長島橋～第2山王橋（土嚢袋1袋）

参加者：宮崎梢、宮崎明花（小2）飯村優介（計3名）

気づいた点：丁寧に生き物のレクチャーをしながらゴミを拾った。ゴミは少なめだった。



### ホタル観察会

【活動報告3】

6月4日（土）19:30～20:30 来場者：158名

深沢大地

総会は感染対策の面で中止になってしまいましたが、ホタル観察会は沢山の人で賑わいました。調査をしていると、毎年地元の方が鑑賞に来ます。

ホタルが飛ぶ良好な水辺環境はもちろんの事、それを大切にする地域の方が沢山いるのは本当に素晴らしい事ですね！この日の最大数は19時45分に計測した452頭でした。これだけの数が飛んでくれるととても見応えがあり、ホタル達の同調発光と同時に来場者からは歓声が上がっていました。

発生場所の広さからして数はこれぐらいが限度かなと思っていますが、10年20年先もこの環境を維持していけるよう、調査や保全活動にも是非ご参加ください。

### クワガタ観察会

【活動報告4】

6月5日（日）19:00～21:00

深沢大地

昨年好評だったクワガタ観察会を今年も開催しました。

クワガタというと夏休みのイメージを持たれる方も多いかと思いますが、実際クワガタが活発に活動するのは神奈川県では5月～7月上旬頃になります。

侍従川流域にも個体数が多い順番にコクワ、ノコギリ、スジ、ヒラタ、ミヤマの5種類が生息しています。ただ一番数の多いコクワガタと言えども一晩で10匹見れば良い方で、年々数を減らしている貴重な存在なので、観察に留めリリースしています。

夜の森はクワガタ以外にも夜行性の昆虫が沢山いるので、もしクワガタが採れなくても退屈はしません！クワガタが居なかったらカミキリムシやゴミムシの仲間などのマニアックな昆虫をネタにしようと企んでいたのですが、今回は想像以上に沢山のクワガタに会うことができ、大いに盛り上がりました！

身近で様々な生き物が見られるこの環境をずっと残していきたいですね。



【参加者からの感想】

**千葉：**クワガタ観察会に参加させていただき、沢山の虫に出会えて子供たちも大人も楽しく過ごす事が出来ました。ただ、クワガタよりも、みんな噛み噛みのキマダラミヤマカミキリが1番印象に残ってしまいました...他の行事も併せてまた参加させて頂ければと思います。ありがとうございました！

**加藤Y・小4：**昨日はすごい楽しかったです。どこが楽しかったかという、初めてメスのノコギリクワガタを見られたことです。次のイベントも参加したいです。

**加藤：**皆様の用意周到な事前準備のお陰で、多くのクワガタを見ることができました。そして、いつもとは違う森の中を見ることが出来、子供はとても感激していたようです。本当にありがとうございました。



## 6月定例クリーンアップ

【活動報告5】

6月26日(日) 10:00~12:00 晴れ

飯村優介

実施内容：潮見橋～大道橋(土嚢袋2袋)

参加者：寺尾勝廣、柏倉正和、柏倉陽向(高1)、柏倉陽斗(中1)、大村和孝、大村知史(小2)、大塚一恵、大塚倅之介(小4)、山本晋介、山本悠晴(小4)、山本花(3才)、大貫俊勝、大貫祐香、大貫花之助(小2)、大貫小梅(年長)、千葉理樹、千葉正江、千葉瑞規(小2)、小池碧馬、貞廣宇保(高1)、五月女陽斗(中2)、飯村優介(計25名)

気づいた点：参加者も多く、生き物も大物が見られ、夏らしい活動となりました。



## 夕暮れの生き物観察会 in 瀬上

【活動報告6】

7月23日(土) 16:00~19:00

深沢大地

集合時間はまだ明るく、夜行性の生き物には少し早い時間。昼行性のトンボやバッタ類等を観察しながら日が暮れるのを待ちます。谷戸を歩くと鳥達が鳴きながら頭上を通過します。この日はカワセミ、アオゲラ、ホトトギスと常連メンバーが顔を見せました。

日没頃になると上空にはヤブヤンマやマルタンヤンマが飛び回りますが、そう簡単には捕まりません。捕まえないと綺麗な模様は見れないトンボはあまり興味を惹かなかったようですが、見られたらラッキーぐらいに思っていたクワガタが予想外の豊作で、参加した中学生達はコクワガタ、ノコギリクワガタ、ミヤマクワガタと次々に見つけ出し大喜びでした。

夜だけ巣を構えるオニグモの仲間は、ヤンマが飛び始める頃に巣を張り始め、帰る頃には完成した巣で獲物を待っていました。

最後は今回の観察会の見どころの1つ、夜にしか花を咲かせないカラスウリの花を鑑賞しました。すっかり暗くなり、ライトを片手に解散場所まで歩いていると、少し離れた上空をフクロウが飛ぶのを発見します。居たー!!! その直後に今度は真上を通り過ぎます! もちろん見られたのはシルエットだけですが、参加者全員がその姿を捉える事が出来ました。私は日没頃にこの場所で何度か目撃した事があり、期待はしていたのですが、まさか本当に見られるとは幸運でした。

コモリグモが子どもを背負っているのを観察したり、当地では私は初めて見るエゾトンボ類が梢を飛び回る様子を観察したり、挙げたらキリがない程の発見があり、とても楽しいひと時でした。



## 7月定例クリーンアップ

【活動報告7】

7月24日(日) 10:00~12:00 晴れ

廣瀬 隆夫

実施内容：諏訪之橋から大道橋~大道橋(土嚢袋3袋)

晴天にめぐまれ、侍従川のクリーンアップと生きもの調べのイベントに参加しましたので報告します。参加者は100名近くいました。10時に集合して侍従会のスタッフからの川遊びの注意事項の説明の後、柵の鍵を開けて子ども



もたちは川に入りました。侍従川の水は冷たくて気持ちよさそうでした。若いお父さんやお母さんも童心に返って魚とりに夢中になっていました。

11時半ごろから、即席の侍従川水族館を作って説明会を開催。学生部の地元の高校生のメンバーによる捕まえた魚たちの説明がありました。ウキゴリ、ボラの子、アユ、クロダイ、モクズガニ、カワニナ、アメンボなどたくさんの生き物たちを前にして、子どもたちは興味津々で説明を聞いていました。午後には、ウナギも捕れたようです。観察が終わった魚は、侍従川にリリースしました。

ゲームセンターでは見る事が出来ない野生に戻った子どもたちのキラキラした目が印象的でした。地域の人たちも、子ども時代を思い出して、目を細めてさかな取りを見ていました。



## トピックス

- 7 / 5 (火) 自主保育つくしとたね が侍従川で魚捕り体験…山田が対応
  - 7 / 13 (水) 六浦南小学校4年生に侍従川体験の事前レクチャー…山田が対応
  - 7 / 24 (日) 天使幼稚園父の会による侍従川魚捕り体験…飯村、柴田、山田が対応
  - 8 / 7 (日) やまだようじ自然塾「親子魚捕り教室」(自然体験教育研究会NEES主催) …山田が対応
  - 8 / 23 (火) 東京シューレによる侍従川魚捕り体験…山田が対応
  - 8 / 28 (日) 定例クリーンアップ、干潟の野鳥観察会 in 野島 雨天中止
  - 8 / 30 (火) 六浦小学校5年生が体験学習…飯村が対応
  - 8 / 30 (火) 六浦南小学校4年生が侍従川探検…山田が対応
  - 9 / 3 (土) 横浜すきっぷ保育園年長組が侍従川で魚捕り体験…山田が対応
- ☆ 国道357号延伸工事に伴う、野島水路の環境アセスメント報告を受け。貴重な干潟、希少な生物への影響が少ないようにと山田から要望…今後専門家会議で話しあわれるようです。
- ☆ 神奈川県横浜川崎治水事務所に、地域からの草刈り&土砂掘削要望があるのを受け、地域の要望に沿った形で極力生きものへの影響がないよう、草刈りは山王橋を境に下流側を台風シーズン前に、上流を9月以降に、10月末以降に全域草刈りをするよう提案(山王橋~六浦二号橋は8月上旬に実施) \*土砂掘削工事は、今年度はないです。

学生部合宿を開催しました。今回のテーマは「ジビエと昆虫食」、普段なかなか口にすることが無いものを食べてみようというコンセプトでした。参加人数は2人と少なかったですが、だからこそ、じっくりと時間をかけて活動に取り組めたのが良かったと思います。特にテントの設営から撤収まで自分たちの力でやり切ったのが印象的でした。詳細報告を参加者の小屋原遼さんが書いてくれました。(金子)

7月30日～31日に学生部合宿に参加しました。

当日は猛暑でしたが、青空がきれいでアウトドア日和でした。参加者は僕と友人と深沢さん、金子さんの4人でした。行先はウェルキャンプ西丹沢。逗子駅に集合し、電車とバスを乗り継いで、向かいました。

キャンプ場では、まず、自分でテントの設営をしました。その後、川に入りました。水が冷たくて気持ち良かったです。友人と協力して大きな石を動かすと、その下に色々な生き物が居ました。サワガニ、アマゴ、ハゼ、ヤゴ、ゲンゴロウ、オタマジャクシ等を捕まえることが出来ました。アマゴやゲンゴロウを捕まえたのは初めてでした。アマゴはとても美しい魚で、ゲンゴロウは元気で力強い虫でした。夕食はイノシシやシカの肉を中心としたジビエバーベキューと、捕まえた昆虫を素揚げにして食べました。どれも初めて食べるものばかりでした。

<食べた昆虫> アブラゼミ(羽化直後・幼虫)、ヒグラシ(成虫)、ミヤマアカネ(成虫)、サワガニ、オオシロカネグモ、ショウリヨウバッタ(幼虫)、コロギス(成虫)、ヘビトンボ類(幼虫)、カワゲラ類(幼虫)、ガガンボ類(幼虫)

虫の中で、一番おいしいと思ったのはショウリヨウバッタでした。少し苦みがあって、サクサク香ばしかったです。

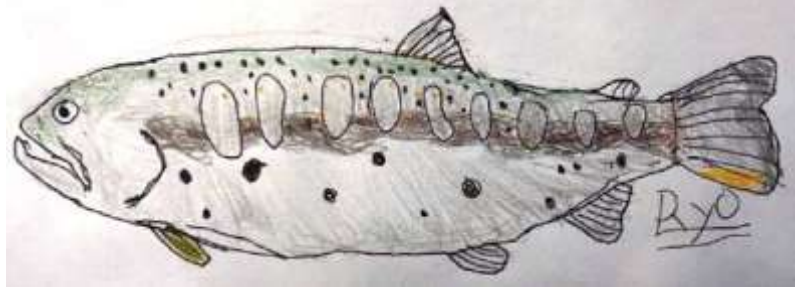
夜の観察もありました。ライトを点けてキャンプ場付近の道沿いでの観察でした。ホタル、モリアオガエル、ヒグラシ、サワガニ、ゲジ、バッタなどを発見出来ました。

夜も暑かったですが、テントから出て涼みながら見た夜空は星がとても綺麗でした。



次の日は金子さんと深沢さんに教えてもらいながらテントを片付け、再度、少し川に入ってから帰りました。

家族以外の人とキャンプに行くのは初めてでしたが、とても楽しく過ごせました。初めての体験もたくさんあって、今年の夏の特別な思い出になりました。



文・イラスト 小屋原遼

## 朝夷奈の森通信 ~森の忍者より~ 飯村優介

初夏から夏にかけての源流の森の移ろい。

遅く出る山菜のシオデはとてもおいしい。奥の方にかけての標高の高いやや開けた所。六月中頃の日陰に太いものが出る。海よりの林では見かけない。

さらに季節が進むとヤマユリが見頃となる。明るい場所に多い。夏キノコは公園や緑地に良いポイントがある。



シオデ



ヤマユリ



ヤナギマツタケ



ヤマドリタケモドキ

## 侍従川定例調査報告 学生部

2022年5月22日(日) 13:00~16:00〔下流域調査〕

【参加者】深沢、飯村 【調査範囲】泥牛橋~京急本線

【鳥類】スズメ(二の橋付近にて幼鳥2羽に親鳥が給餌しているのを観)、ムクドリ(大道東橋にて民家の屋根に営巣しており、親が餌を持って戻るのを観察、幼鳥の鳴き声も確認)、カルガモ(大道東橋付近にて9羽の幼鳥と親鳥を確認)、ツバメ、コゲラ(声のみ)、カワラヒワ(声のみ)、キアシシギ(高橋付近にて2羽確認)、ハシブトガラス、ハシボソガラス、イソヒヨドリ(フナムシを捕まえ飛び去った)

【甲殻類】テガナエビ、ミズレヌマエビ、フナムシ、チゴガニ(六浦二号橋付近、諏訪ノ橋付近、高橋付近、汐見橋付近にて生息を確認)、ケフサイソガニ、フタバカクガニ、アナジャコの仲間(新川橋付近にて投棄されたトタンの下で採集、近年では2例目となる)、コメツキガニと思われる巣穴を発見(高橋付近)

【魚類】 チチブ、ウキゴリの仲間（稚魚）、ウロハゼ（2体確認、どちらも川底に沈んだパイプにて採集）、ハゼ、アベハゼ、ハゼ類の卵塊（チチブ？） 諏訪ノ橋下流にて、クサフグ、クロダイ

【貝類】 カワニナ、ホソウミニナ、イシマキガイ

【爬虫類】 ミシシippアカミミガメ(二の橋下)

2022年6月26日（日） 10:00~12:00〔クリーンアップ調査〕

【調査範囲】 潮見橋~大道橋 【報告者】 五月女陽斗

【確認した生物】 チチブ、マハゼ、ウロハゼ、ニクハゼ、アベハゼ、シマヨシノボリ、ビリング、ボラ、ウナギ、フタバカクガニ、ヤマトウサガニ、マメコブシガニ、クロベンケイガニ、タカノケフサイソガニ、チゴガニ、テナガエビ、スジエビの仲間、ハグロトンボ（成虫・幼虫）、ウミニナ、コシボソヤンマ（羽化殻）、アユ（目視）、アカエイ（目視）、コメツキガニ（目視）、ヒガシニホントカゲ（目視）



マメコブシガニ

併せて、ハゼの卵塊調査も実施しました。（記録者：飯村）

二の橋~山王橋：8個、山王橋~明戸橋：5個、明戸橋~長島橋：4個

大道東橋周辺：15個以上、大道東橋~泥牛橋：11個、泥牛橋~加寿美橋：8個

加寿美橋~六浦二号橋：3個、六浦二号橋~諏訪の橋：4個

13:00~〔定例調査〕

【参加者】 飯村、柏倉、五月女、金子 【記録】 金子

【調査範囲】 二の橋より上流（金之橋側源流域まで）

【確認した生き物】 チチブ、スミウキゴリ、シマヨシノボリ、モクズガニ、ヌマエビ、シオカラトンボ（成虫）、アサヒナカワトンボ（成虫）、コシボソヤンマ（幼虫）、オニヤンマ（幼虫）、ヤマトクロスジヘビトンボ



アオダイショウ脱皮殻

（幼虫）、モンキマメゲンゴロウ、カワニナ、コモチカワツボ、アオダイショウ、その他ヘビの脱皮殻（アオダイショウ・シマヘビ）

併せて、ハゼの卵塊調査も実施しました。

【大道橋~加倉橋】 シマヨシノボリ卵塊：1

【加倉橋~中野橋】 シマヨシノボリ卵塊：1、種類不明ハゼ卵塊：3

【中野橋~第二山王橋】 種類不明ハゼ卵塊：1

【第二山王橋~二の橋】 シマヨシノボリ卵塊：1、種類不明ハゼ卵塊：4

親が確認できた卵塊のみ種類を分けましたが、他の卵塊もシマヨシノボリのものが大半かと思われます。2個、チチブと思われる大きな（数が多い）卵塊が混ざっていました。



## <<2022年 大道溪谷ホタル調査報告>> 学生部

<範囲> 大道溪谷 (大道中学校敷地内)

<日程> 5/21, 5/25, 5/28, 6/1, 6/4, 6/8, 6/15 (計7回)

<参加者> 深沢大地, 飯村優介, 金子英司, 五月女陽斗, 貞廣宇保, 高橋一太

<5/21> 19:30 アオバズク(s)校庭奥北側

20:00 ホトトギス(s)朝比奈北市民の森※一声のみ

20:15 フクロウ(s)朝比奈北市民の森

雨が強くなり 20:30 に終了

注) s=song(囀り)  
c=call(地鳴き)  
f=flying(飛翔)

<5/25> 発生範囲が広がり, 体育館下でも2頭確認、メス初認

19:40 アオバズク(s)朝比奈北市民の森

20:00 ホトトギス(c)校庭上空を北西方向に通過

20:00 アオバズク(s)北東方向の高舟台住宅街

<5/28> 19:00 コウモリ類 1頭(f)校庭上空

19:30 フクロウ(s)奥の谷と朝比奈北市民の森で計2頭

<6/1> 体育館より下流でも50頭以上確認

19:15-20:30 ケラ(声)奥の谷

19:30 カルガモ(f)校庭上空を南西方向に通過

<6/4> 観察会、今季の最多記録451頭を記録 19:45-20:00

<6/8> 風がやや強く, 体育館裏以外では活動が鈍い

葉の裏や草に止まる個体が多く, 正確な計測は難しい

奥の谷ではほとんど見られず, シーズン終盤の様な動き

<6/15> 個体数は減るが, 高所を飛ぶ個体は健在

ピーク地帯は体育館裏で, 少しずつ下流に下がっている

駐車場付近の崖でも2頭確認



<まとめ> オスのピークはどの日も 19:45-20:00 であった

メスは20:00頃から活動していた

今年は二人体制でカウンターを使い, 分担して計測した為, かなり正確に数えられた

今後は中流域や源流域も同日同時刻に調査出来たら, より良いデータが得られると考えている

	5月21日	5月25日	5月28日	6月1日	6月4日	6月8日	6月15日
天気	雨	晴	晴	晴	晴	曇り	曇り
気温(°C)	19.6-17.3	24.2-20.2	24.3-21.4	21.2-20.2	20.8-19.9	18.3-17.9	18.7-17.7
湿度(%)	76-95	60-82	69-87	78-84	65-72	89-92	92-95
最大頭数(オス)	10	48	134	226	451	237	105
最大頭数(メス)	0	1	4	5	7	3	2
参加者	深, 飯	深, 飯	深, 飯, 金	深, 飯	深, 飯, 金, 五, 貞	深, 飯	深, 飯, 高

# 事務局だより

## ◆10月～12月の活動予定

### ☆定例クリーンアップ 10/23(日)、11/27(日)、12/25(日)

10時～11時 大道一丁目緑地(旧称ちとせ園) 集合

持ち物:川に入れる格好、タオル、軍手(必要な人)、

網(使いたい人…貸出あり)、着替え(心配な人)

※川の上からの参加でも構いません ※雨天中止



### ☆11/6(日) 秋の恵みをいただく 9:30～14:00ぐらい \*雨天中止

～キノコ博士によるキノコの実食&レクチャー! キノコ以外にも秋の森の恵みを探します。採れたキノコはバター炒め等で味わいましょう☆

[集合] 9:30 大道一丁目緑地(旧称ちとせ園)

[活動場所] 午前…朝比奈北市民の森(予定)で秋の恵み探し

午後…大道一丁目緑地:昼食の後、調理の予定

※調理は感染予防対策の為、スタッフが行います。

[持ち物] 山歩きしやすい格好、キノコなどを入れる袋、箸&器、昼食(買い弁可)、飲み物、タオル、軍手(必要な人)、レジャーシート(お昼に必要な人)、その他必要と思われるもの

[参加費] 会員無料、非会員¥300(食材費) ☆会員・非会員を問わず、住所・氏名(学年等)・緊急連絡先(雨天中止連絡アドレス)・電話番号を記入の上、[info★jijyukai.sakura.ne.jp](mailto:info@jijyukai.sakura.ne.jp)(★を@に置き換えて)(担当:寺尾)までご連絡ください。

### ☆12/11(日) 冬の森たんけん 9:00～14:00ぐらい \*雨天中止

～冬ならではの森遊びや生きもの探しをしながら冬の森を探検!

[集合] 9:00 大道一丁目緑地(旧称ちとせ園)

[コース] 大道一丁目緑地→朝夷奈切通→三郎の滝(生きもの探し)→十二所果樹園→熊野神社→朝比奈町(解散可)→大道一丁目緑地/(解散)

\*倒木等により、途中コースを変更することもあります。

[持ち物] 山歩きしやすい格好、長靴(負担にならない人)、小さな網(使いたい人)、昼食(買い弁可)、飲み物、軍手(\*必須)、剪定ばさみかナイフ(ある人)、タオル、レジャーシート(必要な人)、レジ袋(ゴミ入れなど)、その他必要と思われるもの

[参加費] 会員無料、非会員¥300(材料費) ☆会員・非会員を問わず、住所・氏名(学年等)・緊急連絡先(雨天中止連絡アドレス)・電話番号を記入の上、[info★jijyukai.sakura.ne.jp](mailto:info@jijyukai.sakura.ne.jp)(★を@に置き換えて)(担当:寺尾)までご連絡ください。

## ■学生部の活動

☆定例調査(下流域) 10/23(日) 定例クリーンアップ後の午後に実施 ※雨天中止

[時間] 12時30分～16時頃 [対象] 小学生以上

[集合] 12時30分 大道一丁目緑地(旧称ちとせ園) [解散] 16時頃 現地(平潟橋付近)

[持ち物] 釣具、防寒対策、飲み物、カメラなど記録に使いたいもの、その他

※今回、釣具の貸出しはありません。調査に必要な道具を各自忘れずにお持ちください。

※釣り用の餌のみこちらで準備いたします。(青イソメ または ジャリメ)

※長い柄付きの網が有ると岸壁についた牡蠣を採集し中に潜む生き物を探することができます。

※カメラなど貴重品の管理は自己責任でお願いします。

※道路を歩いたり、住宅の近くを通ったりします。マナーをしっかりとってください。

※雨天中止、中止の連絡は当日の午前10:00頃行います。

申し込みは不要です。皆様の参加をお待ちしております。

## ☆夜の侍従川探検

川の中を歩いて夜行性の生き物を観察します。※雨天中止

[日時] 10月1日(土) 18時～20時 [参加対象] 小学生以上

[集合] 18時 大道一丁目緑地(旧称ちとせ園) [解散] 20時 大道一丁目緑地

[持ち物] 川に入れる格好(膝くらいまで)、懐中電灯(両手が使えるヘッドライト推奨)、その他観察に使いたい物(網、バケツ、虫かご等)

※小学生は保護者同伴での参加をお願いします。

※申し込み不要 当日集合場所へお越しください。

[留意点] 当日体調の優れない方は参加ご遠慮ください。

・夜間街中を流れる川での観察です。近隣住民の迷惑にならないよう、ライトの向きや声の大きさに注意しましょう。

[問合せ] [daichan.orca★gmail.com](mailto:daichan.orca@gmail.com)(★を@に置き換えて) 080-6714-2000(深沢)

## ☆シュノーケル遠足 in 諸磯 ※要申し込み

三浦まで足を伸ばしてシュノーケリングを楽しみましょう!

この時期は死滅回遊魚と呼ばれるカラフルな魚が沢山見られます。

シュノーケリング未経験者も大歓迎!

[日時] 10月30日(日) [集合] 9時30分 三崎口駅改札外

※9時42分発のバスを逃すと次は1時間後になります。時間厳守でお願いします。

[解散] 15時30分 三崎口駅

[持ち物] 昼食、飲み物、往復のバス代(行き367円、帰り504円 IC価格)、海に入れる格好※1、ライフジャケット※2、シュノーケルセット、手袋、その他海で使いたいもの、着替え、着替えタオル※3

※1 足元はサンダル不可、爪先と踵をしっかりと覆える物。運動靴かマリンシューズ推奨。ラッシュガード等肌の露出が少ない格好推奨。

※2 お持ちでない方は、申し込みメールにライフジャケット貸出希望と記載してください。

※3 現地は着替えができる場所がありません。各自着替えタオル等をご持参ください。

[参加対象] 中学生以上

[申込] 参加者氏名、学年（非学生は年齢）、緊急連絡先を記載したメールを [daichan.orca★gmail.com](mailto:daichan.orca@gmail.com)(★を@に置き換えて)(深沢)まで送信ください。

[留意点] ・当日体調の優れない方は参加ご遠慮ください。

・海での活動は普段の侍従川に比べ危険な事が沢山あります。引率者の指示は必ず守ってください。

・昼食を購入する方は予め購入してから集合するようお願いいたします。三崎口駅にセブンイレブンがあります。

※雨天中止（降雨がなくとも風や波等の海況で中止とする場合もあります）

[問合せ] [daichan.orca★gmail.com](mailto:daichan.orca@gmail.com)(★を@に置き換えて) 080-6714-2000(深沢)

### ☆釣り遠足 ※要申し込み

[日時] **11月26日(土)** 時間未定（目安8:00～16:00）

[場所] 三浦半島内←申し込み者によって場所を決定します！

例：城ヶ島、三春町岸壁、葉山港など

[参加費] 参加費は無料ですが活動場所までの交通費が掛かります。

※活動場所により変わりますので予めご了承ください。

[対象] 小学5年生以上

[申込] 下記情報を記載の上10月16日（日）までに [info★jijyukai.sakura.ne.jp](mailto:info★jijyukai.sakura.ne.jp)（金子宛）にメールで申し込みください。※★を@に書き換えて

1. イベント名：釣り遠足
2. 参加者氏名
3. 釣り具所有の有無（多少の貸出を準備可能です。）
4. 緊急連絡先
5. 学年
6. 希望の釣り場や釣り方：（希望がある方）→例）釣り場：城ヶ島、釣り方：浮き釣り

[詳細] 持ち物・集合場所等の詳細は参加者に別途連絡いたします。

※雨天時中止（波浪警報等海辺の荒天時も中止する場合があります。）

→中止の連絡は当日朝にメーリングリスト及びグループラインでアナウンスします。

※釣り場は最終的にスタッフで決定します。

→希望の釣り場にならない場合もありますので予めご了承ください。

※ご不明な点等ある場合も申し込みと同じ [info アドレス\(金子\)](mailto:info@jijyukai.sakura.ne.jp)までお問合せください。



ウロハゼ

## ☆冬の野鳥観察会 in 野島公園 ※要申し込み

初心者大歓迎☆ 昨年好評をいただいた鳥の観察会を今年も行います！

冬は鳥を見るのに最適な季節！ 通年日本にいる鳥の他に、北国から越冬にやってくる渡り鳥が多数やってきます。双眼鏡の使い方や図鑑の見方等の入門編から、種類の識別、観察記録の付け方等上級編まで参加者に合わせて進めたいと思います！

〔日時〕 **2022年12月17日(土)** 10時～15時

※予備日 2023年12月24日(土)

〔集合〕10時 野島公園青少年研修センター前 〔解散〕15時頃 野島公園

〔活動場所〕野島公園内(野島海岸及び野島山) 〔参加対象〕小学生以上

〔持ち物〕双眼鏡、飲み物、昼食、野鳥図鑑(持っていたら)、その他(筆記用具、カメラ等使いたい物)

〔申し込み〕①氏名(フルネーム)、②学年(大人の方は大人と記入してください)、③緊急連絡先、を記載したメールを [daichan.orca★gmail.com](mailto:daichan.orca@gmail.com) (★を@に置き換えてください) までお願いします

※双眼鏡をお持ちでない方も申し込み時に連絡ください。

〔定員〕20人※先着順 〔参加費〕無料

※じっとして鳥を見ていると結構寒いです。防寒対策をしっかりとしてください(手袋があると良いです！)。

※当日体調の悪い方は参加御遠慮ください。

雨天延期… 延期の場合は当日朝7時までに判断して連絡します。



モクズガニ

## ☆学生部水鳥調査 2022年度

〔日程〕第1回 **2022年11月20日(日)** 第2回 **2022年12月18日(日)**

第3回 **2023年 1月15日(日)** 第4回 **2023年 2月19日(日)**

〔時間〕9時～14時頃 〔集合〕9時 野島橋(シーサイドライン野島公園駅下)

〔解散〕14時頃大道1丁目緑地(ちとせ園)

〔調査目的〕侍従川及び野島海岸へ飛来する鳥類の種類と個体数の把握 〔調査対象〕鳥類

〔調査範囲〕野島前浜、野島水路、平潟湾、侍従川本流(平潟橋～山王橋)

〔持ち物〕昼食(途中コンビニ有り)、飲み物、防寒対策、双眼鏡、その他(図鑑、筆記用具等)

※双眼鏡は多少の貸出があります。お持ちでない方は事前にお問い合わせください。

〔参加対象〕小学生以上 ※調査にしっかり参加できる方

※申し込み不要 当日集合場所へお越しください。

※道路を歩いている調査になります、十分気を付けましょう。

※雨天中止(当日朝7時までにメールリングリストにてお知らせします)

〔問合せ〕 [daichan.orca★gmail.com](mailto:daichan.orca@gmail.com)(★を@に置き換えて) 080-6714-2000(深沢)

## << 新型コロナウイルスの対応について >>

10月以降も例年どおりの活動を予定していますが、状況により変更・中止となる  
ことがあるので、その場合は、ホームページ及びメーリングリストでお知らせします。  
ご了承ください。活動参加の際は、マスク着用等感染対策は各自でお願いします。

## << 2022年度会費納入のお願い >>

会費の納入をお忘れではないですか？今年度の会費をまだ納入されていない方は、  
納入をお願いいたします。

**口座番号：00230-5-68634 加入者名：ふるさと侍従川に親しむ会**

**年会費：家族4,000円、大人3,000円、**

**学生部（大学生まで）・ジュニア1,500円**

**※家族会員は、家族であれば、何人でも4,000円です。**

**[会員情報の記入のお願い]** 通信欄に以下の情報を記入してください。

**①会員種別（家族、大人、学生部・ジュニア）、②お名前（全員分）、③会報郵送希望の有無**

※会員情報を記入していただかないと郵送物（総会のお知らせ・会報等）をお届けする  
ことができないので、振り込む前に必ず確認・記入をお願いします。

なお、継続会員で、かつ転居など会員情報に変更がない場合、銀行からの振り込みも  
受け付けますのでご利用ください。

◆ゆうちょ銀行からの振り込みの場合

**口座番号：00230-5-68634 ふるさと侍従川に親しむ会**

◆他の銀行からの振り込みの場合

**銀行名：ゆうちょ銀行 金融機関コード：9900 店番：029 預金種目：当座**

**店名：〇二九店（ゼロニキュウ店） 口座番号：0068634**

問合せ先：スタッフ又は **info★jijyukai.sakura.ne.jp**(★を@に置き換えてください)

侍従会のホームページはこちら

<https://jijyukai.sakura.ne.jp/wp/>

これまでの会報は全てホームページで見ることが  
できます。



◀編集後記▶ この四半期の活動は、猛暑にも関わらず多くの方に参加していただきました。特に、7月定例クリーンアップは100名近い参加がありました！！ありがとうございました。次の四半期も楽しい活動がたくさんありますので、皆さんぜひ参加してください。(MK)